

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度

授業計画

時 期	2年B巡	単元	実習	教科名	CVT分解組立-Ⅱ		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	バインダー		発行日	2024年5月30日	
			グローブ				
総時限	18時限		マーカーペン2色以上		教科 担当	鍋谷	● ■
			TS3級シャシ（AT）テキスト			2年教員	● ■

1. 指導教員の実務経験

自動車整備士としてシャシ装置分解点検整備の実務経験がある教員により、動力伝達装置のCVTの構造、作動、制御、システム等について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ・CVTを分解し、各部を観察する事により作動のイメージを身に付ける
- ・各部の名称を把握する
- ・CVTの作動原理を理解する
- ・プーリー及びベルト、コントロールバルブの交換作業が出来るようになる
- ・国家試験及びTS3級試験での出題対策を実施する

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

- ・非分解式であるC V Tの構造を理解する
- ・プライマリ、セカンダリプーリーの役割を理解する
- ・スチールベルトの構造、役割の理解する
- ・圧縮作用におけるプーリーの回転を理解する
- ・動力伝達経路を理解する
- ・A Tとの違い、C V Tの利点を理解する
- ・C V T子部品の交換作業が出来る知識を得る

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・実習履修試験での得点評価

整備科60点以上で合格

工学科70点以上で合格

80点以上：「優」 60点以上（工学科は70点以上）：「良」 60点未満（工学科は70点未満）：「未」

再試験合格の場合得点に関わらず：「可」 再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合「可」

出題試験項目

- ① 名称試験：20点
- ② 実技試験：動力伝達経路の理解度確認20点、コントロールバルブ、プーリー及びスチールベルトの脱着20点
- ③ 筆記試験：40問

5. 準備学習

2級シャシ 第2章動力伝達装置 P.50～P.52 構造機能 （2）無段変速機（CVT） 及び P.64 整備（2）CVT
日産テキスト3級シャシー（A/T編） P.108～P.174

（CVT概要、CVTのシステム構成、入力・出力信号、前後進切替機構、油圧制御システム、各種制御、点検整備、付録）

※ ●⇒実務経験がある教員

※ ■⇒日産資格保持者

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度

授業計画

時 期	B巡	単元	実習	教科名	CVT分解組立-Ⅱ
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック	
	CVT設置	・重量物のため運ぶ時に注意 ・周りとの声掛け ・不安定姿勢で運ばない	落下による怪我		
	分解作業	・バリ、エッジ等がある為、注意 ・作業台から落とさない様注意	切創 落下による怪我		
	プーリの扱い	・重量物の為、落とさない様に注意 ・オイルが付いているので滑らない様注意	落下による怪我		
※ 新型コロナウイルス等感染症対策 対応					
1	授業中・休憩中の感染症対策対応	授業中・休憩中、マスクを常時着用 人との距離を取り適宜マスクを外す、水分補給	飛沫等による各種感染症 熱中症		
2	授業中の感染症対策対応	人との密接に配慮し、距離をとる （1m以上Must）	飛沫等による各種感染症		
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		